

**ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議（第6回）
議事概要（ポイント）**

1. 日 時： 令和4年9月9日（金） 9：30～12：25
2. 場 所： 中央合同庁舎第8号館6階623会議室（ウェブ会議）
3. 議 題： (1) 目標1, 3, 6における研究開発の進め方等について
(2) 目標4, 7における研究開発の進め方等について（非公開）

構成員からの主なコメント

全体を通して、世界の中での位置づけを明確にすること、その上で国際標準を取りに行くように進めるよう複数の委員からコメントをいただいた。

① 目標1に関して

- MSとして実施する範囲、既存の技術との違いが見えない。【須藤委員】
- 宗教的に偶像や脳を操作するのはハードルが高いと思うが、現時点でどういう課題が世界で議論されているのか。【波多野委員】

② 目標6に関して

- 多様な方式を奨励しつつどのように各分野を評価してフィードバックをしていくのか。【郷治委員】
- こういった視点を持っている国は、世界的にはどうか。【郷治委員】
- 標準や規格を作るのは日本は得意ではない。スタンダードづくりをリードするよう進めてほしい。【郷治委員】
- 我が国は十分に投資していると思っているか。まだ規模的に足りない、制約の中での採択なのか。【江田委員】
- どこかの段階で民間や新しい企業がここを利用してビジネスを拓げることが考えられるだろう。【江田委員】
- 人材育成は重要と思っている。量子イノベーション戦略見直しに関し、古典と量子のハイブリッドの観点で、今回のテーマが生きているのか。古典からの人材も重要だと思っている。【波多野委員】
- 安全保障に対して、国際連携とどう両立していくのか。世界標準を取ってほしい。【波多野委員】
- MSで達成する具体例をもっと挙げられるとよい。遺伝的疾患やQOLには様々な要素が絡み合っており、適用できることはあるだろう。【福井委員】

③ 目標3に関して

- 第3期SIP(協調ロボティクス)PD候補との連携を取ってほしい。【須藤委員】
- 人に寄り添う課題には多様性の視点が大変重要と思う。海外の研究の状況をどうするか、ELSIに関する進捗を教えてほしい。【梶原委員】
- 社会実装への方策はどのように考えているのか。既存Pjと同様か。【梶原委員】

④ 目標4に関して

- インパクト見極め型はどのような柱で評価しようと考えているか。【江田委員】
- 海外と比べての位置づけやCO₂削減の定量的なロードマップはあるのか。【波多野委員】
- 海外の位置づけについて波多野委員と同じ。ガラパゴスにならないように進めてほしい。【梶原委員】
- 応募者に女性はいなかったのか。どう見ているか。変わっていかなければならないと思っているのでエンカレッジをよろしくお願いしたい。【梶原委員】
- エフォートの規定はあるのか。生活を賭ける研究者がいればもっと進むのではないか。【福井委員】
- ゲノム編集は見込みが立っているのか。炭酸塩化の世界レベルはどうか。【須藤委員】

以上